

二月の朝、白い息を弾ませながら登校してくる子どもたちの姿を見ると、その元気さにこちらまで温かな気持ちになります。寒さは続いていますが、校内には子どもたちがつくるぬくもりがあふれています。友だちと笑い合う声、できたことを嬉しそうに伝える姿、休み時間に手を取り合って遊ぶ光景…。こうした一つ一つが、宝小学校のウェルビーイングを形づくっています。

ウェルビーイングとは、「心と体が心地よく、自分らしさが大切にされている状態」のことです。宝小の毎日には、その芽がたくさん隠れています。話をじっくり聞いてもらえたとき、困ったときにそっと助けてもらえたとき、小さな頑張りを誰かに認めてもらえたとき。子どもたちは、その積み重ねの中で安心し、挑戦する勇気を育てています。

私たち教職員は、子どもたちの「うれしい気持ち」「ほっとする瞬間」を見逃さず、そっと背中を押していくことを大切にしています。宝小に流れるやさしい空気が、子どもたちの心をほぐし、自分らしくいられる力につながっていくことを願っています。

もうすぐ春がやってきます。今年度のまとめの時期だからこそ、子どもたち一人ひとりが「宝小に来てよかった」と感じながら、新しい季節へ進んでいけるよう、これからも学校全体で温かく支えてまいります。

合唱指導

1/30

6年生は、卒業式に向けた合唱練習がいよいよ本格化しています。この日は、元校長先生をお招きし、声の出し方や歌詞に込める気持ちの表し方について、細やかなご指導をいただきました。要点を押さえた分かりやすい助言により、子どもたちの歌声は次第に伸びやかさと深みを増し、体育館いっぱいに響き渡るようになってきました。仲間と心を一つにして歌い上げるその声は、卒業式当日、聴く人の心に温かな感動を届けてくれることでしょう。



なわとび大会

2/3

体育館にて全校児童参加の「なわとび大会」を行いました。1年生から6年生まで、学年の発達段階に応じた種目に挑戦し、これまでの練習の成果を発揮する場となりました。

大会当日は、学年ごとに時間を分けて実施し、両足とびやあやとび、交差とび、二重とびなど、それぞれが自分で選んだ種目に真剣な表情で取り組みました。最後まで粘り強く跳び続ける姿から、子どもたちの成長を強く感じました。

また、友達の挑戦に対して自然と応援の声が上がり会場全体が一体感のある雰囲気になっていました。

このなわとび大会を通して、体力や技能の向上だけでなく、「目標をもって努力すること」「仲間を応援し、支え合うこと」の大切さを学ぶことができました。今後も、こうした経験を日々の学校生活につなげていきたいと考えています。

